

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

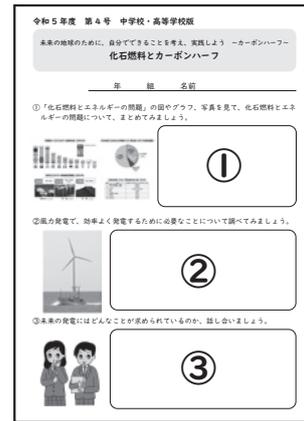
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
化石燃料とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- ・化石燃料について知り、日本と諸外国の発電におけるエネルギーの現状を理解する。
- ・化石燃料と地球温暖化の関係を理解する。
- ・カーボンハーフを実現するための、発電における様々な取組を知る。
- ・自分たちが参加できる温室効果ガス削減についての考え、実践しようとする態度を育む。

③本教材で扱う 主な内容

化石燃料の生成と枯渇、化石燃料と温室効果ガスの関係、日本と諸外国の一次エネルギー自給率、カーボンハーフを目指す発電の取組、自分たちにできるカーボンハーフの取組

④主な活動内容

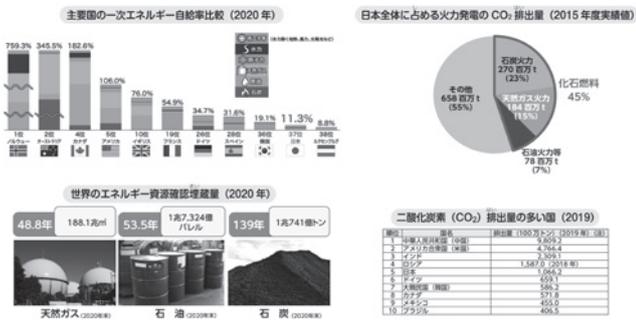
主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、化石燃料とエネルギーについて知る。	○ 化石燃料とエネルギーについて、文やグラフをもとに説明する。	◆ 掲示用教材①
○ 掲示用教材②の図やグラフ、写真を見て、化石燃料とエネルギー問題について話し合う。	○ グラフから分かることを発表させる。 ○ 化石燃料と地球温暖化の関係に気付かせる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材③を見て、二酸化炭素削減の取組や風力発電について知る。	○ 温室効果ガスを少なくする、あるいは出さない発電の取組について説明する。	◆ 掲示用教材③
○ 風力発電で効率よく発電するために必要なことを考える。	○ 風力発電について調べさせる。	◆ ワークシート②
○ 掲示用教材④を見て、未来の発電に求められていることを考えさせる。	○ 安定してたくさんのエネルギーを得られる化石燃料が無くなったらどうなるのかを考えさせ、代替エネルギーの必要性や、未来の発電に求められることに気付かせる。 ○ リンクを参考に自分たちが実行できるカーボンハーフについて話し合う。	◆ 推進資料④ ◆ ワークシート③ ■ 東京都環境局 気候危機行動ムーブメント TIME TO ACT 【環境学習動画】みんなで進めよう！ HTT 第1回 H[へらす]編 ■ 東京都教育庁 カーボンハーフ スタイルチャレンジ 「HTT」アクション



未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
化石燃料とカーボンハーフ

年 組 名前

①「化石燃料とエネルギーの問題」の図やグラフ、写真を見て、化石燃料とエネルギーの問題について、まとめてみましょう。



②風力発電で、効率よく発電するために必要なことについて調べてみましょう。



③未来の発電にはどんなことが求められているのか、話し合みましょう。

